

## 公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成20年7月11日

|     |              |      |            |
|-----|--------------|------|------------|
| 施設名 | 高知県立ふくし交流プラザ | 所管課名 | 健康福祉部保健福祉課 |
|-----|--------------|------|------------|

## 1 施設の概要

|        |   |      |                      |
|--------|---|------|----------------------|
| 指定管理者名 | 財団法人高知県立ふくし交流財団   | 指定期間 | 平成18年4月1日～平成20年3月31日 |
| 施設所在地  | 高知県高知市朝倉戊375-1  |      |                      |
| 事業内容   | <ol style="list-style-type: none"> <li>高知県立ふくし交流プラザの維持管理等業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>施設の維持管理及び貸し出し</li> </ul> </li> <li>高知県介護実習・普及センター事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>介護実習・普及センターの運営</li> <li>県民介護講座の実施</li> <li>福祉用具及び住宅改修の普及事業の実施</li> </ul> </li> <li>高知県高齢者総合相談事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の生活一般相談及び専門相談</li> </ul> </li> <li>高齢者の生きがいと健康づくりの推進に関する事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>オールドパワー文化展、シニアスポーツ交流大会等の実施、全国健康福祉祭への選手選考・派遣等</li> <li>シニア健康づくりリーダー養成講習会、シルバー介護士活動事業、高齢者の自主組織の支援の実施</li> </ul> </li> </ol> |      |                      |
| 施設内容   | <p>○ 面積・施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など</p> <p>施設名：高知県立ふくし交流プラザ<br/> 設備：1Fレストラン、2F～5Fに自動販売機設置、駐車場（普通車で100台／無料）完備<br/> 面積：【土地】5,691㎡ / 【建物】7,965.24㎡（延べ床面積）<br/> 利用時間：9:00～17:00（ただし、特別に許可された貸室は21:00までとする）<br/> 休館日：毎月第2日曜日・国民の祝日に関する法律に規定する休日・12月29日～1月3日<br/> 貸室：各室の面積、定員、利用料金は【別紙1】のとおり</p>  |      |                      |
| 職員体制   | 常勤職員： 8人 非常勤職員： 9人 合計： 17人  |      |                      |

「職員数は平成20年3月31日現在」

## 2 収支の状況

単位：円

|    |         | 18年度(決算)    | 19年度(決算)    |
|----|---------|-------------|-------------|
| 収入 | 県支出金    | 126,000,000 | 127,657,000 |
|    | 使用料・手数料 | 9,129,760   | 9,326,520   |
|    | 負担金収入   | 4,517,566   | 5,027,045   |
|    | その他     | 7,190,816   | 6,801,031   |
|    | 収入計 (a) | 146,838,142 | 148,811,596 |
| 支出 | 事業費     | 26,917,286  | 27,290,846  |
|    | 管理運営費   | 48,213,649  | 56,808,858  |
|    | 人件費     | 59,990,388  | 61,672,000  |
|    | その他     | 11,716,819  | 3,039,892   |
|    | 支出計 (b) | 146,838,142 | 148,811,596 |

### 3 利用状況

|               | 17年度(実績)  | 18年度(実績) | 19年度(実績) |
|---------------|---|----------|----------|
| ①年間利用者数(単位:人) | 64,700  | 70,630   | 73,386   |
| ②利用者意見等の反映    | ○ 貸室利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等)<br>時期:随時<br>方法:ご意見箱での利用者意見の回収<br>結果:<br>(対応できたもの)<br>座りごちの悪い5階ソファのロビーからの撤去、高齢者擬似体験の説明の改善、レストランのメニュー・接遇の改善、駐車場の整理・呼び出し<br>(対応できなかったもの)<br>ホームページ上への駐車場の混雑情報の掲載 |          |          |
|               | ○ 事業参加者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等)<br>時期:各種事業の実施後<br>方法:アンケートでの参加者意見の回収<br>結果:次年度以降の事業内容・取組等の参考にした。  |          |          |
| ③その他特記事項      | スポーツ室料金を条例で定めた上限金額よりも低く設定したことにより、利用が増えた。<br>H17実績 131件/13,200円 → H18実績 283件/344,150円 → H19実績 418件/461,500円  |          |          |

### 4 平成19年度業務評価

| 項 目           | 状 況 説 明  |
|---------------|--|
| ①適正な管理運営の確保   | <ul style="list-style-type: none"> <li>平成19年度計画に基づき、適正な管理運営業務が実施されていた。</li> <li>昨年度に引き続き、スポーツ室の利用料金を条例で定める額よりも低く設定することによりさらに利用者が増加した。</li> <li>火災発生などへの対応に備え、開館日には6名以上の職員が出勤するようにローテーションを組む取組みも継続していた。</li> <li>また、本年度新たに職員の接遇マナー・コミュニケーションの研修会を全職員・入居団体職員を対象に実施した。</li> </ul> |
| ②利用者サービスの維持向上 | <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者を対象に引き続きご意見箱を設置し、できる限り迅速な対応を行った。</li> <li>福祉用具展示コーナーに最新機器を導入し、実用性の高い品目を展示するなどわかりやすい展示方法を工夫した。</li> <li>昨年度より自主事業として行った各種教室は、その後自主的なサークル活動や施設の継続利用につながった。また、本年度はこれをきっかけとして「団塊祭り」が開催され、自主事業の充実も図られた。</li> </ul>                        |
| ③利用実績         | <ul style="list-style-type: none"> <li>ホール・研修室等の利用人員数は2年連続で増加している。</li> <li>県民介護講座では、幅広いテーマで研修事業を行い、延べ6,500人以上が参加している。</li> <li>また、高齢者総合相談事業では、施設内での相談を受けるだけでなく、要望に応じて出前相談を行い、1,132件の相談を受けた。この他にも、元気高齢者の方の生きがい作り推進事業などを行い、延べ6,500人を超える参加があった。</li> </ul>                       |
| ④収支の状況        | <ul style="list-style-type: none"> <li>業務は適正に実施されており、1階ロビーと福祉用具展示コーナーのリニューアルの経費は収益からすべて充てることができた。</li> <li>光熱水費の縮減に努めたが、猛暑や重油の高騰で難しかった。</li> </ul>   |
| ⑤その他          | <ul style="list-style-type: none"> <li>火災・地震・風水害・停電等を想定した危機管理マニュアルを策定し、職員に周知するとともに、消防訓練などを実施し危機管理への体制を整えている。</li> <li>また、1階ロビーや事務室について、地震対策のキャビネット等の転倒、物品の落下防止策を行った。災害時に飲料水を提供できる自動販売機も昨年度に引き続き設置した。</li> </ul>  |
| 総合評価          | <p style="text-align: center;"><b>B</b></p> 協定書、平成19年度事業計画書に基づいて管理運営業務が実施されていた。また、昨年度に引き続き経営改善に取り組んでおり、適正な管理運営が行われていると認められる。   |

- 【評価の目安】
- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
  - B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
  - C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
  - D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの